



# 広報 **えびな**

編集・発行  
海老名市役所 市長室  
〒243-0492  
神奈川県海老名市勝瀬175番地の1  
☎(046)231-2111 / ㊚(046)233-9118  
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>  
\*この広報は再生紙を使用しています。

## 咲き誇る 春の使者

春を告げる花スイートピーが今、出荷のまっ盛りです。大谷の栽培農家尾山勲さん宅でも、家族総出で花の摘み取りと仕分け作業に大忙し。海老名のスイートピー栽培は大正末期から始まり、第二次大戦で一次途

切れたものの、昭和20年代には再開。当時栽培していたのは日本中で本市を含む湘南地域と淡路島だけのよう。海老名産のスイートピーは老舗中の老舗と言えます。今回はこの「春の使者」を紹介します。



毎日の苦勞が実を結び、ハウス内は見事な花々が…

### スイートピー出荷真っ最中

スイートピーの栽培は、気温、土の状態、日照時間で出来が左右されるため、温度調節と肥料の量には常に気を遣う、という尾山さん。去年の夏は猛暑が続いたため、根の張りが少し弱くなつた品種もありましたが、結果として今年もハウスの中は白、ピンク、紫などの花々が見事に咲き誇りました。

前から実践。自家採種も回を重ね、各農家ともオリジナルの品種を持っているとのこと。

今の時期は、余分なつるやわき芽を取ったり、放っておくと4、5日に育つスイートピーの茎を巻いて一定の高さに留める「巻き下げ」をしながら、花を摘み取り、出荷に間に合うよう、選別と箱詰め作業に追われ

「海老名のスイートピーの特徴というと、花もちが良いこと。小まめに水(冷水)を取りかえれば長期間持ちます」と尾山さん。小柄だが品質が良くかれんなところも自慢だそうです。

海老名では親子三代にわたって栽培している農家も少なくありません。市内にある8軒の栽培農家は、長年培った経験と研究成果をもとに、それぞれ独自の栽培方法を確立している。近年行われている「養液土耕(養分を含んだ水を土に吸わせる耕法)」も、10年

「旅立ち」優しい思い出」などがあります。これからの時期は卒業・卒業式用の注文が増えるそうですが、花を贈られた人たちの一生の思い出になるようにと、今日も心を込めたスイートピー栽培が続いています。

#### 定評ある市の花々

地元の名産物を地元のみなさんに知っていただき、地元で消費する「地産地消」の一環として行われた「えびな花のフェスティバル」では、市内産の花々が展示されました。

市内でも多く、会場では「市内でこんなに花を作っているの!」という声が目立ちました。「冬来たりなば春遠からじ…」今春と限らず、今年も郷土が育てた花々を愛でてみてはいかがでしょうか。

選別・箱詰め作業は夜遅くまでかかることも



実はスイートピー以外の切り花や鉢物も、各種品評会・コンクールで何度も上位に入賞するなど、質の良さには定評がありますが、こうした事実を知らな

#### 郷土で栽培されている主な花々

品名	開花時期
スイートピー	12月上旬～4月上旬
カーネーション	10月下旬～5月下旬
バラ	10月下旬～6月下旬
洋ラン	通年
シクラメン	11月上旬～12月下旬
ポインセチア	11月中旬～12月中旬
花壇苗	通年